

安田学園高等学校

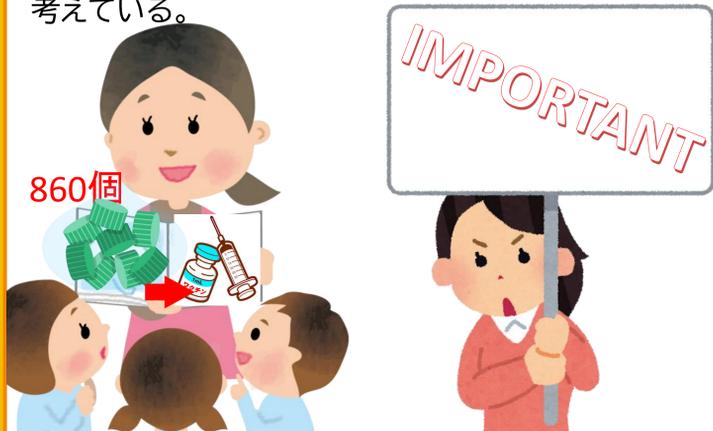
安田学園インターアクトクラブ

高校生ボランティア・アワード2022

ペットボトルキャップアート 寄贈の意味

学校周辺の保育園へ季節に合ったペットボトルキャップアートを作成し、寄贈を始めて今年で3年目！

学校で集めたキャップでキャップアートを作り寄贈して、お子さんにペットボトルキャップは集めて寄付することでワクチンになり、ワクチンを打つことのできない人達を助けることができるということを伝える。それを知ったお子さんが先生や保護者の方々に「今日こんなことを知ったんだ～」と話して**ペットボトルキャップの大切さ**を広めてもらい、間接的に伝えることでキャップを捨てないように心がけてもらえたら…と考えている。



キャップアートの歴史

初年度は一目見てわかるをテーマに平面アートを作成。キャップを使用したことを全面的にアピールする狙いと初めてのキャップ回収運動の啓発活動であったため、**子供たちに興味を持って貰うことを第一に考えた可愛いデザイン**を採用。

2年目は初年度との変化を持たせた立体アートを作成。『これをキャップで作ったの!?!』というギャップで目を引くという狙い。

そして3年目となる今年度は1年目、2年目のアイデアを両方採用した平面、立体のアートの両方を作成。

さらに作成キットを渡し、子どもたちに作ってもらう形をとることでより**自分のことのように感じて貰える**よう工夫した。また毎年、直接子供たちに手渡しで寄付も行っている。寄贈した時の子供たちのアートへの**無邪気な反応**や活動に対して、**一生懸命知ろうとしてくれる姿**、また保育園の先生からの「いつも楽しみにしています」という声から活動の意義を感じている。



活動方針

定義

『ボランティアは自発的な意思に基づいて人や社会に貢献すること』

×受け身な存在になる

○自らがやりたいことを考え、行動に移す自発的な存在になる

→本クラブでは一から計画し実行する**自己発信型ボランティア**を行っている。

《例》防災フォーラムや募金活動への参加、地域清掃の主催・参加

さらに、本校の文化祭ではレモネードスタンドとバザーの設置、献血の呼びかけなどを行い、たくさん寄付することができた。

計画していた活動の一部はこのような状況によって延期・中止となってしまったが、その分また新しくできることを計画し、常に自発的な存在になれるようにしている。

モットー

生徒主体

普段のクラブ活動でも生徒が指揮を執る。顧問の先生方から活動内容・時間配分も委ねられているため、どうすれば効率よく活動できるか、部員をまとめられるかを考えている。そのために週に一回、幹部会を開く。幹部は中学生と高校生で構成されているので、お互いに良い刺激となり、新たなアイデアを生み出せる。このような活動を行う上でリーダーシップを育むことができるだけでなく、様々な価値観をもつ異なる年齢の生徒が協力しあうことができる。そうすることによって将来社会で役に立つスキルを身につけることができ、自己発信を進んでできるような環境も作り出すことができる。

献血の呼びかけ



地域清掃の主催・参加



防災フォーラム



こんなこともやってる！

錦糸公園清掃活動
2021 11/21日曜日実施



大横川親水公園
2022 5/8日曜日実施



今後の清掃活動では、インターアクトクラブの枠を超えて、地域の皆さんと一緒に清掃活動をしたいため、一般参加の人を呼べる体制をソーシャル・ネットワーク・サービスなどを使用して、清掃活動ができるようにしたいと考えている。



活動団体プロフィール

2019年創部
東京東ロータリークラブの支援を受けて活動している
中学生と高校生、合わせて24人在籍

人数の多さが強みで、異なる年齢の生徒が協力し合うことで様々な視点から意見が出るため、お互いに良い刺激になっている。